



一般社団法人 CUROCO SDGs 宣言

当社は、SDGsの達成に向けて、後述の取組を含む社内外に好循環を生み出す取組を推進し、PDCA（計画-実行-評価-改善）サイクルに沿った継続的な取組およびその改善を、ここに宣言します。

2025年 3月 1日

一般社団法人 CUROCO 代表理事 清水 聡

人権・労働

＜具体的な取組内容＞

- 「一緒に考える、支える、理解する、伝える」を理念とし、職員同士が「協力し合える仲間」という意識と職場環境を醸成し、職員のワークエンゲージメント向上を目指す
- 多様な人材活用に向けて、業務の習熟度を的確に測定し、必要な指導、研修会の実施、資格取得の補助を行い、職員のキャリアアップとウエルビーイングに寄与する

＜関連のあるゴール＞



製品・サービス

＜具体的な取組内容＞

- 利用者サービスの品質向上を常に目指し、時代に即した手法や新技術活用によって業務効率改善・生産性向上に取り組んでいく
- 傾聴・共感から利用者相互理解を深め、多様な人材の価値感や一人ひとりのペースを尊重し、小さな体験の積み重ねから自分らしく成長できるように支援していく

＜関連のあるゴール＞



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



内部管理体制

＜具体的な取組内容＞

- 全職員から些細な情報であっても、相談・意見交換ができる企業文化を育み、内部管理体制の強化、支援事故発生防止に努めていく
- 法令順守、情報管理、報告と対策を徹底し、業務逸脱行為やトラブルを未然に防ぎ、社会的信用の維持と組織力向上に努めていく

＜関連のあるゴール＞



社会貢献・地域貢献

＜具体的な取組内容＞

- 同業他社と連携することによって、地域の「福祉事業」の発展と誰もが安心して暮らせる街づくりに寄与していく
- 当法人のアート展開催や施設内外の各種イベントに参加し、様々な体験学習を通して子どもたちの人材育成と地域交流の場を設けていく
- 利用者家族の心理的・社会的不安を軽減し、就労機会創出に貢献していく

＜関連のあるゴール＞



SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。